

2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [東浦町立緒川小学校] 担当教諭名 [成田 梓・上野 優紀子] (6年 76名)

相手国・地域 [マラウイ]

海外学校名 [Patsankhondo Full Primary School] 担当教諭名 [George Chatha / 高橋 一生(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	自分の未来 世界の未来	25

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	From the past to the future
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	わたしたちが目指したい世界の未来 みんなで手を取り合って平和な世界を。環境を大切に。 自国の文化や伝統のよさ
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
世界について学ぶ意欲が高まった。 日本の当たり前が当たり前でないことを知るきっかけとなった。	学年全員で世界について学び、アートマイルについて考えてきた。しかし、実行委員を中心に進めてきたこともあり、関わりの薄い児童がでてきてしまった。 授業時間だけでは足りず、休み時間を使うことも多くあった

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
世界の文化の多様性や、日本の文化の魅力に気付いた。 豊かで便利なだけが幸せではないと気付いた。	改めて世界の文化の多様性や、日本の文化の魅力に気付いた。 どちらの国からも、一生懸命いろいろなことを学ぼうとする純粋な子どもたちの姿を見ることができた。こういうものは国が違っても同じなのだと分かった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	カード交換 写真で自己紹介	丁寧にカードを作成した とても嬉しそう 紙や絵、字の違いに驚いていた	総合
共有 テーマ学習	10月	メールやフォーラムを使って、互いの文化を紹介 日本・マラウイの特色について調べた	真剣に写真や動画を見て、文化の違いを感じていた	総合
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	学年全員でどのようなメッセージを伝えたいのか、どんなデザインを入れたいのか話し合った	これまで自国の文化や世界の文化について学んだ内容を思い返しながらか 真剣に話し合っていた	総合
創造 壁画制作	12月	それぞれ書く部分を分けて、製作を進めた	丁寧に塗っていた 資料を探し、参考にする児童もいた	休み時間
評価 振り返り 自己評価	2月	届いたアートマイルを見て、感想を言い合った プリントで振り返り、クラスで発表し共有した	マラウイの子どもたちの思いや絵のメッセージを受け取ろうとする意欲的な姿が見られた	総合

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	5	自国の魅力をデザインに入れる際の話し合い
異文化を理解する力	5	届いたアートマイルを見て、感想を言い合った場面
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	3	世界の文化や日本独自の文化を調べた場面
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	カード
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	デザインを決める際の話し合い
主体的に考え行動する力	4	デザインを決める際の話し合い
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	壁画作成時
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	中心になって活動した児童には力がついた
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	振り返りプリント